

1 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	受検者に対して評価者3名の面接(10分程度)
(4) 海外在住状況説明書	実施要項(様式7)により、海外在住期間及びその前後の教育歴等を説明したもの。

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査 [500点満点]

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科(各教科100点満点)の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書 アの数値に、イ及びエについて加点(上限35点)したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	算式1で求めた数値を2倍にして評価する。
イ 出欠の記録	3か年皆勤である場合は6点を加点する。
ウ 行動の記録	○が2個以下の場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録、及び特記事項	特別活動の記録で生徒会・部活動・その他の記録を数値化して評価する。 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動(生徒会長6点, 副会長・書記・会計5点として6点満点で加点する。) ・部活動の部長, 各種実行委員長, 応援団長(5点満点で加点する。) ・部活動の実績(県大会上位・関東大会出場を10点, 県大会出場を8点, 市郡大会上位を6点として10点満点で加点する。) ・顕著な資格等(8点満点で加点する。)
オ 総合所見	総合的に判定する際の参考とする。

(3) 面接 [15点満点]

3名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a(優れている)・b(標準的である)・c(問題がある)の3段階で評価し、3名の評価者の評価の組合せ(a a a～c c c)ごとに得点化する。

面接の各評価項目の評価で(a c c), (b c c), (c c c)がある者は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望動機	志望の動機が明確である。
イ 高校生活への意欲	高校生活に対する目標・意識が明確である。 高校生活(学習・部活動等)に意欲的に取り組もうとしている。
ウ 質問に対する応答	質問内容を的確に理解し、わかりやすく適切に回答することができる。 中学校時代に頑張ったこと等について、明確に回答することができる。 将来の進路希望について、具体的に回答することができる。

(4) 海外在住状況説明書

評価項目	評価基準
記載内容	志願資格があることを確認する。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

中学校の校長から送付された調査書、海外在住状況説明書等の書類の審査並びに学力検査及び面接の結果を資料とし、総合的に判定して選抜を行う。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはない。

5 その他

過年度卒業者については、第2日の検査終了後、別途個人面談を行う。